

個別支援シート（就学前の機関用） A

(ふりがな)		性別	生年月日
幼児氏名			
障害等の状況	障害名、障害の疑い、診断の有無にかかわらず気になる姿などを記入します。その他、乳幼児健診の結果、発達検査等の結果、生育歴、既往症など。	手帳等	(平成 年 月 日交付)  身体障害者手帳、療育手帳の取得があれば記入します。取得年月日も記入。
住所		連絡先	
保護者氏名		緊急連絡先	

	支援機関／担当者／連絡先	具体的な支援内容・所見等
在籍園	<div>この欄は、子どもと関わる支援機関について記入する欄です。</div> <div>左の欄には、「支援機関名」「担当者」「連絡先」などを記入。</div>	<div>右の欄には、その支援機関の役割、または、具体的な支援体制や支援内容等を記入します。</div> <div>その支援機関の利用頻度、その支援機関からのアドバイスの内容や、所見等もあれば記入しておくといでしょう。</div>
医療・療育機関等		
保健・福祉		
その他	<div>その他の欄は、例えば、教育委員会の専門家チームや、就学指導委員会等の組織的な支援を受けている場合など、その点について記入します。</div> <div>支援機関の欄の項目は必要に応じて増やして活用してください。</div>	

支援会議（予定も含む）		
日時	参加者	協議内容・引継ぎ事項等
<div>この欄は「支援会議」「ケース会議」等、子どもについての主な話し合いの記録を記入していく欄です。</div> <div>左の欄には、参加者を記入します。</div> <div>右の欄には、会議の際の話題を記入します。今後の課題、支援の方向性や支援内容の改善点等、引き継ぐべき内容を簡潔に記入します。</div>		

個別支援シート(就学前の機関用) B

		からだ・せいかつ	コミュニケーション	好きなこと/きらいなこと、行動のようす
		からだ・健康	日常生活	人とのかかわり
			コミュニケーション	好き・とくいなこと きらいなこと
保護者から	実態について	個別支援シート作成開始の段階で、家庭での様子を保護者から聞き取り記入します。（聞き取り表等を使って記入してもらおうとよいでしょう。）		
	願い	幼稚園・保育所の生活の中で、どう育ってほしいか、保護者の願いを記入します。		
幼稚園 保育所等から	実態について	在籍園での生活の状況から気になる点と、その子の良い点の両面で記入をします。 視点が必要な点：気になる姿、本人が困っていること、ひどく苦手なこと等 支援に生かす点：できること、得意なこと、好きなこと、興味のあること等		
	つけた い力	「つけたい力」として指導目標として考えられることを記入します。 文末表現は「～ようになる。」「～できる。」など、子どもを主語にして具体的に書きます。 実践の評価を通して、必要に応じて目標も修正します。（修正箇所が残るような記入の仕方です）		
	支援の 手だて	支援の手だては具体的に記入します。（主語は支援者の立場で） 実践の評価を受けて、支援の手だてについても修正や追加をします。（取り消しラインを付けたり、朱書きするなど修正箇所が残るような記録が望ましいでしょう。）		
		この「幼稚園・保育所」の記入欄は、「個別の指導計画」として、在籍園での保育者間の共通理解をいっそう図り、一貫したきめ細やかな支援を行うためのツールとなります。年度（または学期）が変わるごとに、下に同じ欄を付け足して次年度に引き継ぐことができるようにするとよいでしょう。		

就学に向けて		大切にしてきたこと・支援のポイント	就学後の支援に向けて
	保護者より	この「就学に向けて」の欄は、就学指導に先がけて記入します。 在籍園でのこれまでの取組が就学先での指導・支援に生かされるような情報の伝達が求められます。	「保護者の願い」も含めて、就学先での学校生活における支援についての希望等を記入します。
	幼稚園 保育所より		就学先の環境で予測されることも踏まえて、支援の方向性や手だてなど、就学先の学校にとって参考になるような内容を記入します。
	医療・療育機関より	この欄には、医療機関・療育機関（または他の関係機関）からの所見や助言等、就学に向けて参考となるものがあれば、記入します。	
引継事項（就学後に、引き続き支援が必要な内容や配慮事項）			